

第 57 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）ならびに
The 19th International Congress of Cytology (ICC2016)
開催概要（第 5 次）

第 57 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）ならびに The 19th International Congress of Cytology (ICC2016) を下記の要領で開催させていただきます。参加登録、各種行事、宿泊予約ならびにプログラムについてお知らせいたします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

会期：

第 57 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）：

2016 年 5 月 27 日（金）～5 月 29 日（日）

The 19th International Congress of Cytology (ICC2016)：

2016 年 5 月 28 日（土）～6 月 1 日（水）

会場：パシフィコ横浜

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 1-1-1

TEL：045-221-2155 FAX：045-221-2136

会長／Congress President：青木 大輔（慶應義塾大学医学部産婦人科学教室）

テーマ：New Innovative Technologies Changing Cytology

共同主催：日本学術会議

ホームページ

第 57 回日本臨床細胞学会

<http://www.cytologyjapan2016.com/japanese/index.html>

ICC2016

<http://www.cytologyjapan2016.com/>

プログラム委員長：進 伸幸（慶應義塾大学医学部産婦人科学教室）

事務局：〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35

慶應義塾大学医学部産婦人科学教室

富永 英一郎（事務局長）

運営事務局：株式会社コングレ

〒102-8481 東京都千代田区麴町 5-1

TEL：03-5216-5318 FAX：03-5216-5552

E-mail：icc2016@congre.co.jp

1. 参加登録について（インターネットによる登録）

早期参加登録締切 2016年4月15日

事前参加登録締切 2016年5月19日

参加費 (医師会員) 早期登録 50,000円 通常登録 60,000円
(細胞検査士) 早期登録 30,000円 通常登録 40,000円
1 day ticket 12,000円

- ① ICC2016 および第57回日本臨床細胞学会春期大会の共通参加証を発行いたします。1度の参加登録で両方の学会に参加が可能です。
- ② インターネットによる事前参加登録を推奨しております。
- ③ 事前参加登録締切を過ぎると当日の参加登録になります。
- ④ 医師以外の会員向けに1 day ticketを発行します。各個人に1回のみ発行となります。

2. 単位セッション

日本臨床細胞学会 細胞診専門医研修指定講座

- ① 5月28日 11:00~12:00

特別講演：新たな時代を迎えたがん免疫療法 Cancer Immunotherapy Comes of Age

演者：河上 裕（慶應義塾大学医学部 先端医科学研究所
細胞情報研究部門）

- ② 5月29日 11:30~12:30

Presidential Guest Lecture：“Systems Medicine Approach in Leukemias and Solid Tumors”

演者：Olli Kallioniemi (Institute for Molecular Medicine, Finland)

- ③ 5月30日 11:30~12:30

Keynote Lecture：“Role of Fine Needle Biopsy Cytology in the Developed and Developing World”

演者：Andrew Field (University of Notre Dame Medical School, Australia)

- ④ 5月30日 16:10~17:10

Keynote Lecture：“Cytology Diagnosis Followed by Molecular Genetic Test in Lung Cancer”

演者：Dong-ge Liu (Pathology Department of Beijing Hospital, China)

倫理委員会教育講演（日本臨床細胞学会、日本産科婦人科学会 共通講習）

5月28日 16:30~17:30

教育講演：研究不正-その実態と背景、対策について-

演者：黒木 登志夫（日本学術振興会学術システム研究センター）

医療安全セミナー（日本臨床細胞学会、日本産科婦人科学会 共通講習）

5月29日 17:10~18:10

教育講演：臨床細胞検査等における医療安全について

演者：後 信（九州大学病院医療安全管理部/日本医療機能評価機構）

日本産科婦人科学会 専門医機構プログラム（専門領域講習）

① 5月28日 11:00~12:00

特別講演：新たな時代を迎えたがん免疫療法 Cancer Immunotherapy Comes of Age

演者：河上 裕（慶應義塾大学医学部 先端医学研究所
細胞情報研究部門）

② 5月31日 11:30~12:30

Plenary Lecture：“Type 1 and Type 2 Cervical Carcinomas: Some Cervical Cancers are Significantly More Difficult to Prevent with Screening”

演者：Marshall Austin (Magee-Womens Hospital of University of Pittsburgh Medical Center, USA)

3. 細胞検査士の学会参加単位について

付与される単位は、事前・通常登録で2日間以上参加していただいた方には75単位、事前・通常登録で1日間だけ参加していただいた方には50単位、1day ticketで参加していただいた方には25単位となりますのでご承知おき下さい。詳細は学会HP（<http://www.cytologyjapan2016.com/japanese/index.html>）をご覧ください。

4. プログラムについて

特別講演等プログラムについては文末またはHP

（<http://www.cytologyjapan2016.com/japanese/index.html>）をご覧ください。

市民公開講座『女性からだ会議®2016』

日時：5月28日（土）16時~18時30分（15時30分開場）

会場：パシフィコ横浜 メインホール

総合司会：松田陽子

第一部：16:05~17:20「経験者と乳がん・子宮頸がんの未来を考える」

キーノートスピーチ 井上苑子

レクチャー 宮城悦子

モデレーター 安倍宏之、三原じゅん子、夏目亜季、
藤森香衣、難波美智代

第二部：17:40～18:25「誕生日には検診を！ママと子どもの笑顔をまもるからだ
の約束」

モデレーター 山本恵子、戸澤晃子、新居日南恵、
堀江敦子、甲田恵子、奥田絵美、安藤哲也

5. ビジネスミーティングについて

日本臨床細胞学会 理事会

日時：5月27日（金）15:30～18:30

会場：TKP ガーデンシティ PREMIUM 横浜ランドマークタワー 大会議室
（最寄駅：桜木町駅）

日本臨床細胞学会 総会

日時：5月28日（土）15:30～16:30

会場：パシフィコ横浜 国立大ホール

IAC Council Executive Meeting

日時：5月28日（土）10:00～16:00（詳細は未定）

会場：パシフィコ横浜 会議センター 418

6. IAC 資格認定試験（サイトパソロジストおよび国際細胞検査士）について

日時：5月28日（土）12:00～17:00（予定）

会場：パシフィコ横浜（神奈川県横浜市）会議センター 4階

7. セレモニー、懇親会について

Opening Ceremony（開会式）

日時：5月28日（土）18:30～19:30

会場：パシフィコ横浜 国立大ホール

Welcome Reception（会員懇親会）

日時：5月28日（土）19:30～21:00

会場：ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル 3階 ボールルーム

参加費：参加登録費に含まれる

Congress Dinner

日時：5月31日（火）19:30～21:00

会場：大さん橋ホール

参加費：8,000円

*HPから参加登録をお願いします。

*パシフィコ横浜よりシャトルバスを運行します。

8. 宿泊について

宿泊申込み締切 2016年5月6日

【特別講演等】

ICC 2016 (第19回国際細胞学会議)

Plenary Lecture 1

Practice of cytopathologist at FNA clinic: A new approach for patients

David B. Kaminsky (The United States and Canadian Academy of Pathology, USA)

Plenary Lecture 2

Type 1 and Type 2 Cervical Carcinomas: Some Cervical Cancers are Significantly More Difficult to Prevent with Screening

R. Marshall Austin (Magee-Womens Hospital of University of Pittsburgh Medical Center, USA)

Keynote Lecture 1

Role of Fine Needle Biopsy Cytology in the Developed and Developing World

Andrew S. Field (University of Notre Dame Medical School / Department of Anatomical Pathology, St Vincent's Hospital, Sydney, Australia)

Keynote Lecture 2

Cytology diagnosis followed by molecular genetic test in lung cancer

Liu Dong-ge (Beijing Hospital, China)

Keynote Lecture 3

Cytology services in the mid-income trapped country: Thailand's experience

Samreung Rangdaeng (Department of Pathology, Faculty of Medicine, Chiang Mai University, Thailand)

Keynote Lecture 4

Role of the Pathologist in the Management of Breast Cancer

Fernando Schmitt (Laboratoire National De Sante, Luxembourg)

Presidential Guest Lecture 1

Biology and clinical significance of HPV (tentative)

John Doorbar (Department of Pathology, University of Cambridge, UK)

Presidential Guest Lecture 2

Systems Medicine approach in leukemias and solid tumors

Olli Kallioniemi (Science for Life Laboratory, Karolinska Institutet, Sweden / Institute for Molecular Medicine FIMM, Finland)

第 57 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）

特別講演 1 新たな時代を迎えたがん免疫療法 Cancer immunotherapy comes of age
河上 裕（慶應義塾大学医学部先端医科学研究所細胞情報研究部門 教授）

特別講演 2 がん関連マイクロ RNA の探索と診断・治療への応用
稲澤譲治（東京医科歯科大学難治疾患研究所 教授）

招請講演 1 細胞内分解系オートファジーのメカニズムと役割
水島 昇（東京大学医学系研究科分子生物学分野 教授）

招請講演 2 癌幹細胞研究の現状
森 正樹（大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学 教授）

要望講演 1 肺癌 WHO 分類（2015）に基づく新たな呼吸器細胞診
佐藤之俊（北里大学医学部呼吸器外科学 主任教授）

要望講演 2 肝発がんのエピゲノム機構
金井弥栄（慶應義塾大学医学部病理学 教授）

要望講演 3 がん検診精度管理の考え方
斎藤 博（国立がん研究センター検診研究部 部長）

要望講演 4 リンパ腫：最近の進展
吉野 正（岡山大学病理学 教授）

教育講演（倫理委員会指定セミナー） 研究不正 —その実態と背景、対策について—
黒木登志夫（日本学術振興会 学術システム研究センター 相談役）

教育講演（医療安全セミナー） 臨床細胞検査等における医療安全について

後 信（九州大学病院医療安全管理部 教授・部長／日本医療機能評価機構 執行理事）

第 57 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）

The 19th International Congress of Cytology
会長（Congress President） 青木 大輔